

タイ・バンコク情勢

平成22年4月20日

外務省

1. これまでの経緯と現状

- ・タイの首都バンコクにおいて、3月中旬から反独裁民主戦線（UDD、赤シャツ、タクシン元首相支持派）デモ隊が、官庁街近くのパンファー橋付近、及び繁華街であるラチャプラソン交差点付近で大規模集会を行ってきた。
- ・10日午後、パンファー橋付近において、デモ隊とこれを排除しようとした治安部隊との間で衝突が発生。取材中の日本人ジャーナリスト村本博之（むらもと・ひろゆき）氏が巻き込まれ死亡した他、多数の死傷者が出た（20日午前現在、死者25名、負傷者840名）。
- ・10日深夜以降、新たな激しい衝突は見られていない。14日、デモ隊はパンファー橋付近から撤収し、ラチャプラソン交差点一カ所に勢力を集中（20日6時現在、デモ参加者数1万人）。
- ・20日、UDDは、ラチャプラソン交差点からビジネス街であるシーロム地区に活動を拡大させる構えを見せていたが、UDDデモ隊は、同地区から軍が撤収するまで同地には向かわないことを決定。

2. タイ政府及びUDDの対応

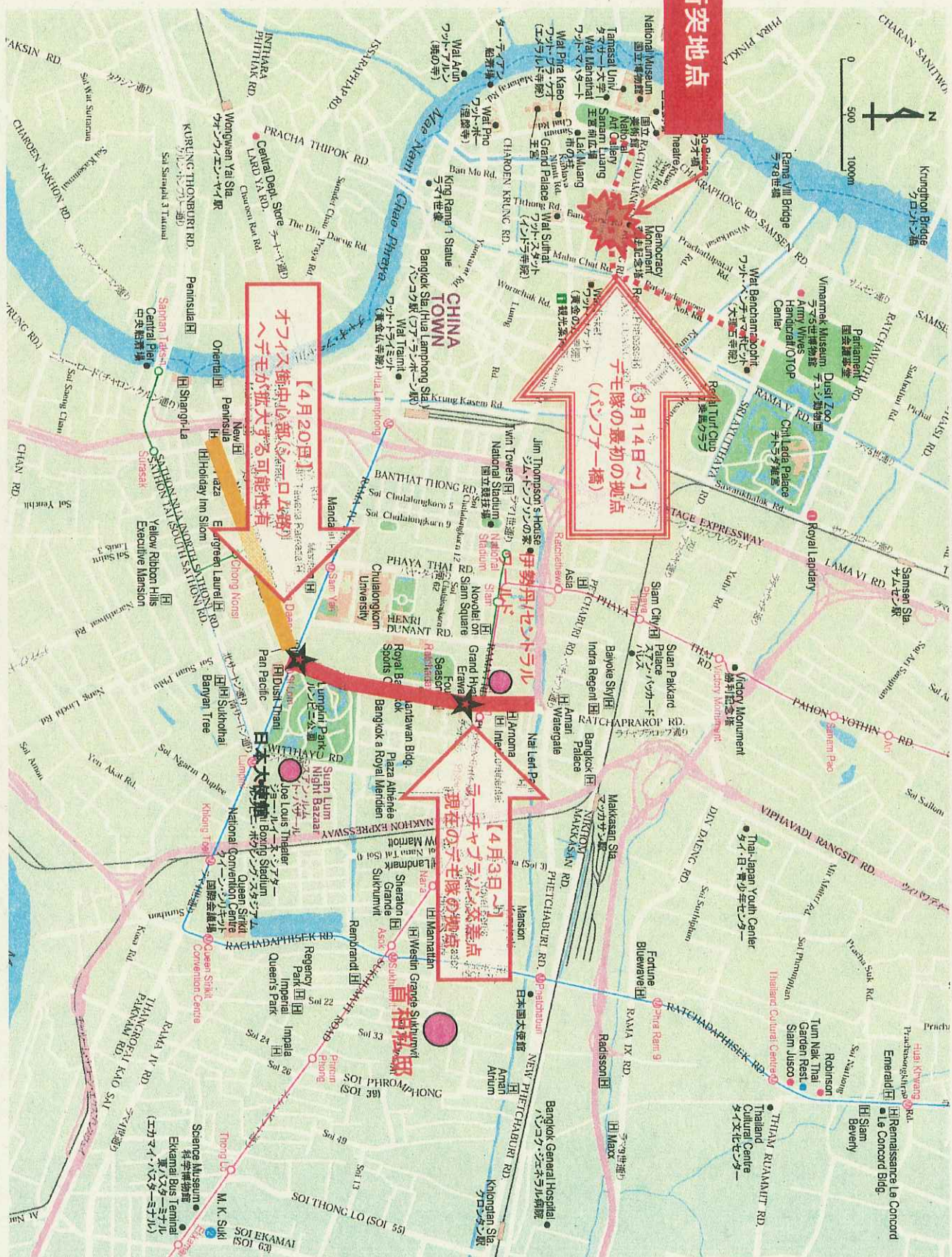
- ・10日夜以降、アピシット首相は会見を通じ、犠牲者及びその家族に哀悼の意を表した上、（1）強制排除は、他に選択肢がなくなったため実施した、（2）死傷者発生真相究明を行う、（3）デモ隊の中にテロリストがまぎれており、これらに今後適切な措置をとっていく旨表明。
- ・タイ政府は、UDDのみならず政治対立に関連したあらゆるグループを招いて政治解決に向けた話し合いを目指すとしているが、UDD側は国会の即時解散を要求、右実現までラチャプラソン交差点の占拠を続けるとしており、両者の間に妥協の兆しは今のところ見えてこない。
- ・18日、市民民主化同盟（PAD、黄シャツ、反タクシン元首相派）数千名が、バンコク郊外で集会を開き、政府がUDDに対し法を厳格に執行することを要求。仮に政府が7日以内に対応できなければ何らかの行動を起こす旨決定。

3. 我が国の対応

- 大規模デモ開始前から外務本省及び在タイ日本国大使館から渡航情報（スポット情報）等を発出し、累次にわたり邦人に対し注意喚起。
- 10日、本邦と在タイ大にタイ情勢に対応する「対策室」を設置。村本氏死亡事案に対し本邦及び現地において、遺憾を表明し、事実関係の確認及び在留邦人の安全に最大限配慮するよう要請。
- 11日午後、アピシット首相発鳩山総理大臣宛、及びカシット外相発岡田外務大臣宛弔意及び本事案に関する徹底した捜査の実施を約束する旨表明する書簡が接到。これに対して、同日夜、それぞれ鳩山総理及び岡田大臣から多くの死傷者を出した今般の事態への憂慮と村本氏の死亡について遺憾の意を表明し、村本氏死亡事案に関する真相究明及び邦人の安全確保への最大限の配慮を要請する旨の返書を発出。引き続きタイ政府の対応を求めている。
- 19日、シーロム地区への抗議活動の拡大可能性を踏まえ、改めて、タイ政府に対して、邦人の安全への最大限の配慮等を要請。
- 11～13日にかけて、亡くなった村本氏のご家族のバンコクへの渡航、ご遺体の円滑な引き取り等につき支援。

（了）

バンコク都心の主要集会・デモ活動場所(4月19日現在)



...デモ隊の集会地点

...20日にデモ集会が拡大予定の地点

反独裁民主戦線 (UDD*)

デモ隊乱入で
ASEAN首脳
会議(パタヤ)延期
(09年4月)

タイUDD代表



タクシン元首相
(08年2月以降、海外滞在中)

- ・01年総選挙でタクシン政権成立。05年選挙、06年選挙でもタイ愛国党が大勝。06年9月海外滞在中、クーデター発生により失脚。
- ・07年5月に選挙違反によりタイ愛国党解党判決。
- ・07年12月総選挙でタクシン支持派国民の力党勝利。
→サマツク、ソムチャイ政権が成立するが、司法判断で失脚。国民の力党も解党。
- ・アピシット政権に対して反政府デモを断続的に実施。
- ・10年2月 不正蓄財の罪でタクシン元首相・家族の全財産の3分の2(約1200億円)を没収
- ・3月14日からバンコク都内において大規模なデモ開始。

タイ内政対立の構図

特権階級による
非民主的な支配
として批判

タクシン政権時代の
王室不敬、
権力濫用・汚職
を批判

与野党対立

現政権

民主党中心の連立政権
(民主党 172議席含む266議席)
(下院定数は480議席、現有475議席)

都市富裕・中間層、
労組、南部住民が支持

国民(長期化する対立への閉塞感:政治不信)

枢密院



側面支援

プレム枢密院議長

国軍

忠誠

王室

平成22年4月



プミポン国王
(昨年9月から入院中)

反タクシン
政府支持派

民主化市民連合
(PAD**)

大規模デモ
・首相府占拠
(08年8月末)
・2空港占拠
(08年11月末)

親タクシン
反政府派

タイ貢献党中心の野党連合
(タイ貢献党189議席含む209議席)

旧連立与党から野党に転落

都市貧困層、北部
東北部農民が支持

